日本微生物系統分類研究会
Japan Society for Microbial Systematics

第 31 回日本微生物系統分類研究会年次大会

主　　催　：　日本微生物系統分類研究会（会長：江崎孝行）

共同世話人：　大熊盛也（理研バイオリソースセンター 微生物材料開発室）
望月　淳（テクノスルガ・ラボ）

開催日時：　平成 23 年 11 月 25 日（金）　13:00 ～ 19:45（受付 12:30 ～）
総　　会：13:00 ～ 13:40
シンポジウム：13:45 ～ 17:25
懇　親　会：17:45 ～ 19:45

開催場所：　独立行政法人理化学研究所　和光キャンパス内
鈴木梅太郎記念ホール
〒351-0198　埼玉県和光市広沢 2-1
http://www.riken.go.jp/r-world/riken/campus/wako/index.html

シンポジウム
ゲノム時代の微生物系統分類学
―全ゲノム情報を活用した新しい分類体系の構築に向けて―

シンポジウムの趣旨

今年は 1995 年の *Haemophilus influenzae* の全ゲノムが決定されて以来、16 年目の年になります。新しいゲノムシークエンサーが次々と登場し、解析コストも時間も短縮化され、たとえば細菌の全ゲノムを決定する時間は数日で、コストも最新の半導体シークエンサーでは一株数万円の価格で全ゲノム解析ができる時代に突入しています。全ゲノム配列が蓄積された真正細菌では NCBI に登録されたデータだけでも 1145 株、400 種、真核生物では 71 種に到達しています。これらのデータを利用して多種類の微生物種の全ゲノムの保有情報を比較して解析する情報処理のプログラム環境も整備されてきました。

いよいよ分類学（taxonomy）/ 系統分類学（systematics）の研究者が全ゲノム情報を活用し、分類体系の構築に活躍できる時代が開花しようとしています。どのような解析方法があるのか、どのような視点で膨大なゲノム情報を系統解析するのかを、分類学 / 系統分類学の研究者の視点で議論する場を設け、時代をリードする新しい分類体系の提案に夢をめぐらす機会を会員に提供したいと、このシンポジウムを企画しました。

コンビーナー：　江崎孝行（岐阜大学大学院　医学系研究科）
杉山純多（テクノスルガ・ラボ　千葉分室）

プ ロ グ ラ ム :（持ち時間 35 分 : 発表 25 分、討論 10 分）

13:45 ~ 13:50　はじめに（コンビーナー）

13:50 ~ 14:25　細菌　江崎孝行（岐阜大学大学院　医学系研究科）
「全ゲノム情報から Family *Enterobacteriaceae* の菌種、属レベルの分類指標となる多型遺伝子群および保存遺伝子群の選択とその根拠」

14:25 ~ 15:00　アーキア　伊藤　隆（理化学研究所　バイオリソースセンター）
「ゲノム情報に見るアーキアの系統進化」

15:00 ~ 15:25　休憩・集合写真撮影

15:25 ~ 16:00　原生生物　稲垣祐司（筑波大学計算科学研究センター・同大学院　生命環境科学研究科（系））
「新奇真核微生物からの大規模配列データで変貌し続ける、我々の真核生物大系統像」

16:00 ~ 16:35　菌類　小池英明（産業技術総合研究所　生物プロセス研究部門）
「糸状菌の比較ゲノム解析 ～多様性の理解を目指して～」

16:35 ~ 17:10　全ゲノム比較　内山郁夫（岡崎基礎生物学研究所 ゲノム情報研究室・情報管理解析室）
「原核・真核微生物の全ゲノム比較データベース MBGD」

17:10 ~ 17:20　総合討論

17:20 ~ 17:25　おわりに（コンビーナー/共同世話人）

17:45 ~ 19:45　懇親会（会場 : 理化学研究所内　統合支援施設（第一食堂））

大会参加申込（参加申し込み〆切:11 月 18 日）:

参加申込書類（参加申込書.doc）に必要事項をご記入の上,
E-mail ⇒ jsms-31@tecsrg.co.jp　または　Fax ⇒ 054-349-6211 に送付下さい.

	年次大会参加費	懇親会参加費
会員	2,000 円	3,000 円
非会員	3,000 円	3,000 円
学生	1,000 円	2,000 円

講演要旨集・参加者名簿（事前登録者のみ記載）:

講演要旨集および参加者名簿を当日受付にて配布します。

問合せ・連絡先:

JSMS-31 年次大会事務局
株式会社テクノスルガ・ラボ 内
〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 330 番地
TEL: 054-349-6211　　FAX: 054-349-6121
大会事務局メールアドレス:　jsms-31@tecsrg.co.jp
大会ホームページ:　http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsms/
担当:望月　淳

以上